

Apartmentふう

Apartmentふうは、木造の良さを生かした落ち着いた空間です。

自然素材でできた建物の心地よさは、他に代えがたいものがあり、人間が本来持っている五感に働きかける力があります。

建築家：泉幸甫

1947熊本県生まれ。

日本大学大学院修士課程修了、千葉大学後期博士課程修了。博士(工学)。

1977泉幸甫建築研究所を設立。2008～日本大学教授。

1999[Apartment 傳(でん)]で東京建築賞最優秀賞受賞、2004[Apartment 鶉(じゅん)]で日本建築学会作品選奨受賞。

著書に[建築家が作る理想のマンション]。[新建築][住宅特集][住宅建築]など掲載誌多数。

Apartmentふうは、多くの特徴を持っています。具体的には…

■1 Apartmentふうは、外壁に「MOISS」* という優れた材料を使っています。

火災に対する耐火性能はもとより、地震に対する耐震性能も、実証されています。

その外側には、木ズリという板(通常より厚い18mm)を斜め方向に貼り(斜めにする事で耐震性能を更に高める効果あり)、その外側を、自然の材料を使った左官壁で仕上げています。

この左官壁**は、自然の風合いの感じられる掻き落とし仕上げとし、みどりの映える、白に近い色を基調としました。

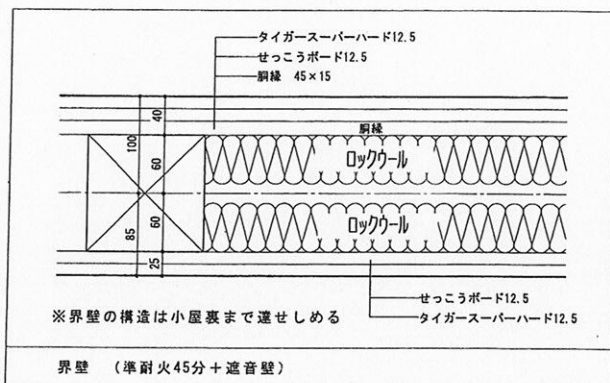
*三菱マテリアルの繊維混入けい酸カルシウム板

**左官職人・小沼充(とその仲間職人たち)による施工

■2 Apartmentふうは、住戸と住戸の間の壁(界壁)を、しっかりと造っています。

例えば、壁の中には、ロックウールを2重に入れてあります。

その両側には、通常の石膏ボードを設置し、さらにその両側に、スーパーハードという、とても固い石膏ボードを設置するなど、木造としては、かなりしっかりと造り込みをしています。

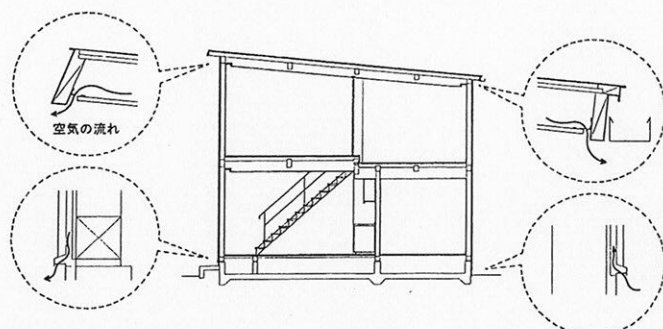


■3 Apartmentふうは、空気の流れを大切にしています。

各住戸は、2面もしくは3面に開口部を設けて、採光に加えて、自然の空気が流れやすくなるように配慮しています。敷地内にふんだんに設けられたオープンスペースからは、心地良い風が流れ込みます。

もう一つ、見た目にはわかりませんが、■1のMOISSと左官壁の間は、木ズリに沿って細い空間があって、空気が流れる仕組みになっています。屋根の裏側も同様で、日差しで暖められた空気は、屋根裏にこもらずに、なるべく外へと抜けるようになっています。

この空気の出入り口は、軒下のほか、外壁の下端にもあって、その網目を手で触れてみる事ができます。



■4 Apartmentふうは、日々生活する空間として、身体へのやさしさに気を遣っています。

材料は、できるだけ自然の素材（床の無垢のラージ材など）を多く使い、建材や塗料についても、シックハウスの原因とされる化学物質（ホルムアルデヒドなど）がほとんど出ない製品*を指定しています。なお、窓ガラスは、ガラスが2重の「ペアガラス」を採用して、断熱性や遮音性を高めるとともに、紫外線をカットする効果もあります。

*日本工業規格のF☆☆☆☆相当以上など

■5 Apartmentふうは、設備も充実しています。

リビングの「床暖房」、浴室の「浴室乾燥機」などはもちろんですが、J:COMでは、CATV（一部多チャンネル）を追加料金なく視聴できます。

また、インターネットは、J:COMでも接続可能（オプションで割引料金）ですが、NTT光ファイバーが各住戸まで配線済みなので、NTT（フレッツ光）での接続が容易に可能です。

■6 Apartmentふうは、「住宅性能評価」*を取得しています。

特に地震に対する「耐震等級」は、極めて高い評価（建築基準法で定める基準の1.5倍の耐力に相当など）を受けています。火災に対する「耐火等級」も、木造でありながら、十分に高い評価（外壁等の火熱を遮る時間が45分以上など）を受けています。また、劣化の項目でも、劣化しにくい対策が十分講じられていると評価されています。

*住宅の品質を第三者機関が客観的に評価する制度（住宅の品質確保の促進等に関する法律第5条第1項）

■7 Apartmentふうは、何より、みどりを大切にしています。

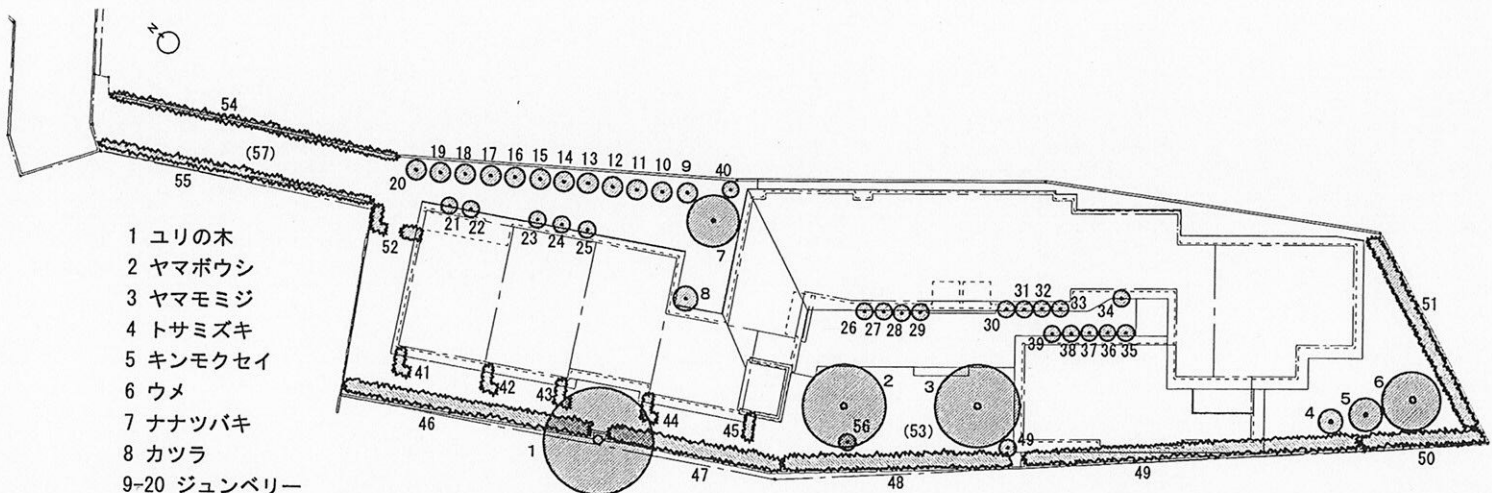
敷地に元々あった「ユリの木」のほか、中庭に、大きな「ヤマボウシ」や「山もみじ」を植えています。

ちなみに、アパートメントふうの「ふう」は、楓（カエデ）の訓読みでもあります。

アプローチ通路の横には「ナツツバキ」や「カツラ」のほか、「ジュンベリー」も12本あって、たくさんの実（ジャムに出来る）を付けるでしょう。

入り口の棚の「フジ」と、中庭の「ブドウ」は、一見まだ緑の少ない状態ですが、ほどなく弦も伸びて、豊かな彩りをもたらしてくれることとなります。アプローチ付近のフェンスも、やはり現時点では緑が少ないですが、「ティカカズラ」が伸びて、壁面緑化される予定です。

とりわけ中庭は、Apartment全体のゆとりの空間となっています。居住者がくつろげるベンチや、バーベキューのできるテーブル（使用ルールあり）を設けてあり、暮らしに彩を添えるいろいろな使い方も可能です。



- 1 ユリの木
- 2 ヤマボウシ
- 3 ヤマモミジ
- 4 トサミズキ
- 5 キンモクセイ
- 6 ウメ
- 7 ナツツバキ
- 8 カツラ
- 9-20 ジュンベリー
- 21-40 ナンテン
- 41-52 シラカシ
- 53 ブドウ
- 54-55 ティカカズラ

- 56 ミツマタ
- 57 フジ
- その他、下草としてオカメツタ